

3年次に履修する実習の概要

科目担当者	授業科目	授業の概要・目的	授業科目の到達目標
藤村 宮内	健康課題別看護実習Ⅰ：A健康増進 支援実習/B女性健康支援実習	地域社会のさまざまな施設（地域包括支援センター、医療機関、助産院等）において、妊婦、産婦、褥婦、新生児、成人、高齢者、およびその家族の特徴を理解した上で、対象把握や健康課題のアセスメントにもとづいて、対象者およびその家族が健康を保持増進するためのセルフケア能力、ならびに人々の連続した主体的な健康へのセルフマネジメントを高めるための看護支援方法について学修する。 人々が地域で望む暮らしを実現するためのニーズを踏まえ、各発達段階に応じた主体的な健康の保持増進、ならびに人々が自らの健康をコントロールし疾病を予防するための看護支援方法について考察する。	A健康増進支援実習 1. 地域包括支援センターの対象となる高齢者やその家族の健康課題やニーズについて、生涯発達の視点から説明できる 2. 成人・高齢期の健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護支援について具体的に説明できる。 3. 地域包括支援センターで行われている他職種と協働した看護支援について説明できる。 4. 地域包括支援センターにおける予防的看護支援について説明できる。 5. 暮らしの場で営まれる人々の連続した主体的な健康の保持増進活動を支援する看護職の役割について自分の言葉で説明できる。 B女性健康支援実習 1. 妊婦、産婦、褥婦、新生児およびその家族の健康状態を総合的に判断し、立案した看護計画をもとに看護を実施、評価できる。 2. 妊婦、産婦、褥婦、新生児およびその家族への看護実践を通して、必要な基本的看護技術を習得できる。 3. 妊婦、褥婦、新生児およびその家族が地域において生活していく上で必要な看護を行い、継続看護の視点で看護の役割について説明できる。 4. 女性のライフステージにおける性と生殖における健康状態を判断し、ライフサイクルの視点で看護の役割について説明できる。 5. 女性の性と生殖における健康の保持増進、疾病予防において看護が果たす役割について述べることができる。
山内 小岡	健康課題別看護実習Ⅱ：A生命危機 支援実習/B生活再構築支援実習	周手術期にある人、急性疾患の発症や外傷により重篤な状況にある人、回復過程にありリハビリテーションを必要とする人および、それらの人々の家族に対する看護を実践または見学することで、急激な健康破綻とそこからの生活の再構築を体験する人の支援のあり方を学修する。 急激な健康破綻をきたした人が生命の危機的状況に陥り、そこから脱却・回復し、望む生活を再構築していくという一連の過程を支えるために、患者とその家族の特徴を踏まえて看護の要点を理解する。	A生命危機支援実習 1. 周手術期にある人、急性疾患の発症や外傷により重篤な状況に陥った人と家族に対して回復を促す援助、重篤な状況にある人や急性症状のある人の生命維持の援助を、一連の回復過程を視野におきながら実施できる 2. 手術や急性疾患の罹患などにより急激な健康破綻をきたした人と家族の特徴を自分の言葉で説明できる 3. 手術や急性疾患の罹患などにより急激な健康破綻をきたした人と家族に対する、生命の危機的状態からの脱却と回復を促進する看護の要点を自分の言葉で説明できる B生活再構築支援実習 1. 回復過程にありリハビリテーションを必要とする人との援助的人間関係を形成することができる。 2. 障害をもち回復過程にある人とその家族の心身の状況をアセスメントし、生活を再構築するために必要な、身体の機能回復や障害受容促進し生活機能を再獲得するための援助方法を計画・実施・評価することができる。 3. 対象の生活環境の特性と生活を再構築するための多職種の連携、社会資源の活用法の在り方を理解し、看護師の役割について説明できる。
二井谷 柴 吉田	健康課題別看護実習Ⅲ：Aセルフマ ネジメント支援実習（成人）/Bセ ルフマネジメント支援実習（精 神）/C地域生活支援実習	慢性・不可逆的な疾患、障害をもつ人とその家族に対する、さまざまな療養の場での看護を実践または見学し、多角的な観点から病いもちながら地域で暮らす人の支援のあり方を学修する。 慢性・不可逆的な疾患、障害をもつ人が生活や病いとともに生きてきた体験の中で培った強みを活かしながらセルフマネジメントし、豊かに自分の暮らしを営んでいくことを支えるために、患者とその家族の特徴を踏まえて看護の要点を理解する。	Aセルフマネジメント支援実習（成人） 1. 対象者の疾患の特徴と治療経過、疾病が対象者とその家族の生活や人生にどのように影響しているか理解することができる。 2. 対象者の疾病認識と自己管理の状況、検査値等からセルフマネジメントの現状と課題をアセスメントできる。 3. アセスメントから対象者の看護上の問題を明確にし、問題解決につながる看護計画を立案することができる。 4. 立案した看護計画を実践し、その効果を評価・修正することができる。 5. 看護実践をとおして、慢性疾患患者とその家族に対する効果的な看護について考察することができる。 Bセルフマネジメント支援実習（精神） 1. 精神疾患をもつ人とのコミュニケーションにおいて自己を治療的に活用し、その意図的な場面について洞察することができる。 2. 精神疾患をもつ人と家族のセルフマネジメントの方法や新たなニーズについて考察することができる。 3. 精神疾患をもつ人のストレンスを引き出す関わりを通じて、対象者のリカバリーのプロセスを推察することができる。 C地域生活支援実習 1. 訪問した慢性・不可逆的な健康課題を有する在宅療養者と家族のニーズを捉えることができる。 2. 訪問した在宅療養者とその家族の健康課題や介護上の課題について述べるができる。 3. 訪問した在宅療養者と家族の支援方法を考察できる。

3 年次に履修する実習の概要

科目担当者	授業科目	授業の概要・目的	授業科目の到達目標
陶山	健康課題別看護実習Ⅳ：エンドオブライフ支援実習	死が差し迫った人やそう遠くない将来に死が訪れる人とその家族に必要な看護実践あるいは見学し、エンドオブライフ・ケアについて学修する。 エンド・オブ・ライフにある人が自律した存在として生活できるよう、意思を最大限に尊重し、日常を整え、全人的苦痛を緩和する看護を行い、その自身の看護実践に基づいて最期までその人らしく生きることを支える看護のあり方について考察する。	1. エンド・オブ・ライフにある受け持ち対象者の日常生活の様子、援助に対する反応、語り、あるいはその人について看護師や家族から収集した情報をもとに、「その人らしさ」（生き方、最期の過ごし方、大切な生活行動など）を見出すことができる。 2. エンド・オブ・ライフにある受け持ち対象者やその家族に対して、意思を尊重しながら、日常を整える援助、全人的苦痛を緩和する援助を実施できる。 3. 目標1と2をもとに、最期までその人らしく生きることを支える看護のあり方について、自分の言葉で説明できる。
葉師神	健康課題別看護実習Ⅴ：小児発達支援実習	疾患をもつ子どもと家族を対象に看護を実践し、子どもの発達段階や健康レベルに応じた看護を学修する。 子どもの最善の利益を守る看護を実践するために、子どもの成長発達を促進し、子どもと家族がもつ最大限の力を引きだすセルフケアの援助方法を学修する。	1. 臨床現場において、子どもの成長・発達と日常生活を理解し、健康障害を持つ子どもの看護援助を行うためのアセスメント能力を習得できる。 2. 健康障害を持つ子どもの看護を立案・実践・評価する看護の基礎的能力を習得する。 3. 子どもが家庭や地域で暮らし、成長・発達するために必要な家族のマネジメント力を活かした家族支援を実践できる。
陶山	地域医療看護実習	健康問題を持ちながら山間へき地で暮らす人々やそれを支える専門職との関りや他学年・医学生との意見交換を通して、山間へき地の地域包括ケアや地域医療について学修する。人の暮らす地域の特性を活かし地域医療の課題に取り組むために、山間へき地で暮らす人や社会資源の特性から地域で暮し続けるためのニーズやニーズを充足するための方策を考察することができる。	1. 健康問題をもちながらも、住み慣れた山間僻地で暮らし続ける人の思いや暮らし方の特徴について説明できる。 2. 山間僻地で暮らす人の地域とのつながりや暮らしを支える社会システムについて説明できる。 3. その人の望みを実現し、住み慣れた地域で暮らし続けるための課題を抽出し、解決のために必要な社会資源の活用法や新たな社会資源の必要性を考案できる。 4. 地域包括ケアシステムにおける多機関・多職種連携・協働について理解し、地域医療における看護の役割・機能について考察できる。